

会 議 録		令和6年10月22日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府福知山警察署協議会（令和6年度第2回）		
開催日	令和6年10月4日（金曜日）		
時 間	午後4時から午後5時10分までの間（70分）		
場 所	京都府福知山警察署 講堂		
出席者	足立（幸）会長、北村副会長、廉屋委員、足立（久）委員、片山委員、堀委員、佐々木委員、佐竹委員 （欠席 中司副会長、福井委員、福中委員） 計8人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、刑事課長、交通課長 警備課長、広聴相談係長、地域管理係長 計10人		
諮 問 事 項	花火大会の雑踏警備について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 副署長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 協議 司会 会長</p> <p>諮問事項説明 花火大会の雑踏警備について～交通課長</p> <p>【委員】平成25年の事故で、知人の家族が被災され、大変痛ましく感じた。 今回、警察が事前準備に苦勞されたことを知った。</p> <p>【委員】人手の予想が全くつかない中で、非常に綿密な雑踏警備計画を立てるのは大変な苦勞があったと思う。そこに敬意を表したい。 花火大会は今後も続いていくと思う。来年、新たな課題が出てきた際は、よろしく願いしたい。</p> <p>【委員】平成25年は高台から花火が打ち上げられるのを待っていたが、いつまで経っても花火が打ち上げられず、帰ってから事故が起こったことを知った。 事故が起こらなければ、花火は続いていたと思っている。主催者や業者への指導が大切だと感じた。 今回は見物客を分散させたことで、雑踏事故が起こらなかったのではないかと思う。</p> <p>【委員】11年前の事故により、当時の主催者は被害に遭われた方達のことを考えて花火大会を終息させようと動いたと思う。</p>		

会 議
内 容

ただ、福知山市民の大きな期待の中で、花火大会を復活させてほしいという様々な動きがあった。10年の間には、全く告知をしないという形式で花火があげられたこともある。

今回、全く新しい有志の方達が実行委員会を立ち上げ、「福知山市らしい花火大会をつくりたい。」と市に訴えかけて花火大会の開催に至った。

警察にも色々と指導をしていただき、今回無事に新しい花火大会の幕が開いたと考えている。

回数を重ねるごとに、新たな改善点が出てくると思うので、警察の御協力をいただければと思う。

【委員】説明を聞いて、警察がきめ細かい準備をされていたのだと知り、頭が下がる思いだ。

警察がこれだけのことをしてくれているということを福知山市民が知らないのではないか。

警察が色々な活動をされていることを何らかの方法で周知したら良いと思う。

【委員】主催者が熱意を持って取り組んでいたことは知っている。

雑踏警備について、主催者が何かする際に報告をしなければならないという規定はあるのか。

【警察】その場所や内容によって判断することになる。

【委員】海外の雑踏事故が取り上げられていたが、あのような雑踏事故は防ぐことはできないのか。

また、日本ではあまり起こるようなことではないのか。

【警察】過去に他県で起こった雑踏事故では、事故の原因について警察の責任が問われたことがある。

京都でも雑踏事故が起こる可能性はあると考えている。

【委員】今回の雑踏警備のために、たくさんの資料を作成されたことを知り驚いた。今回作成された資料を基にすれば、来年以降は今年よりもスムーズに進むのか。

【警察】今回、当署から主催者に対して色々と見直しを求めた。

警察としては、1人でも怪我人が出てはいけないという考えをもって、そのような対応をさせてもらった。

【委員】基本となる資料があるので、全くのゼロからではないと思う。

しかし、花火大会の内容が違えば、雑踏警備の内容も全く違うものになってくると思う。

【警察】来年、花火の打ち上げ数が増えれば、京都府北部では大きな規模の花火大会になってくる。そうなると花火を見物される人も増えてくると思われる。

今年は主催者側が鉄道会社に依頼して、電車の本数が1本増えたが、それでは足りなくなることも考えられる。

過去には、他の地域での花火大会で、駅のホームが人であふれかえるという事態があり、当署としても今回同様のことが起きないか懸念をしていた。

会 議
内 容

電車の本数は容易に増やすことはできないので、鉄道会社への依頼についても検討をしてもらおう必要もでてくる。

【委員】主催者やスタッフの中に規制要領等を熟知していない人もいたということは、雑踏事故が起こる可能性を高めていると感じた。

主催者側の自主警備が原則ということを知り、警察から主催者にしっかりと指導をしていただきたいと思った。

【委員】今回の説明を聴き、非常に感銘を受けた。

主催者側に対して必要なことを教示されたことが大きなことだと思う。

今回説明していただいたことを市民に公開してもらいたい。警察がこのようなことをしているということを知らない福知山市民の方が多いと思う。

事前対策を十分に行ったことにより、大きな問題点はなかったということだが、小さな問題点はあったと思われる。小さな問題点もPDCAサイクル(Plan-Do-Check-Act cycle : マネジメントサイクル)で回し、今後の対策に活かしてもらえればと考えている。

4 事務連絡

(1) 衆議院議員総選挙が行われるが、警察協議会委員は、非常勤特別職の地方公務員であるため、選挙期間中は、警察署協議会委員の地位を利用した選挙運動は禁止されている。

(2) 令和6年度第3回京都府福知山警察署協議会については、協議事項も含めて事務局と調整の上、決定する。

以上

第2回京都府福知山警察署協議会の開催状況

